

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和3年度

市町村名	羽生市					
提案事業名	観光拠点魅力向上事業					
事業期間	平成31年度 ~ 平成31年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 三田ヶ谷農林公園（キヤッセ羽生）入込来園者数					
	(成果検証の具体的な方法) 店舗及び物産館への来園者数の事業実施前と実施後の数値を比較し、増減及びその原因を分析する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (平成30年3月時点)	275,000人	目標値 (令和3年3月時点)	300,000人	実績値 (令和3年3月時点)	217,000人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		市のホームページで公表する。				

【事業効果の整理・原因分析】

平成31年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① キヤッセ羽生整備事業	×	チャレンジファーム事業の拠点施設であるキヤッセ羽生を整備することにより、県内外からの多様な世代の来園者の交流の場としての機能の充実を図ったが、新型コロナウイルス感染拡大により様々なイベント（GWこどもまつり、世界キャラクターさみっと、わくわく公園まつり等）の開催中止や縮小により、本来の目的を果たせなかった。 令和3年度になり、感染拡大防止対策を施しながら運営し、徐々に来園者が増えつつある。今後、工夫を凝らしたイベントを開催しながら集客の増加へ向けて取り組んでいく。
② 多世代間交流イベント事業 (令和元年度実施事業)	○	平成31年4月と令和元10月に市内で活動している音楽団体と共に地ビール音楽フェスタを開催し、市内外の音楽団体が参加しながら、多世代間の交流を図るイベントが開催できた。 今後も市民の自主的活動の場を提供し、周遊施設の拠点となるようなイベントの開催に向けて取り組んでいく。
③ 周遊スタンプラリー事業 (令和元年度実施事業)	○	近隣のさいたま水族館とのコラボシールを作成し、共催イベント時でのスタンプラリー開催を予定していたが、天候不良によるイベントの中止により、実施方法を変更して来園者に配布し、双方のPRに活用した。

【成果検証の総括・改善策の検討】

<p>実施事業について 十分に成果が認められた点</p>	<p>多世代交流間交流イベント事業については、参加者と共に実行委員会を立ち上げ、企画から実行までを行い、当日はキャッセ来園者、フェスタ参加者、実行委員会とも様々な世代が交流できる音楽イベントを開催することができた。</p>
<p>実施事業について 成果が不十分である点</p>	<p>魅力ある拠点基盤整備を実施したが、新型コロナウイルス感染拡大による影響が大きかった。 来園者数の減少が顕著であったが、チャレンジファーム事業との連携によりいちご関連商品の販売が好調であったため、今後も連携の強化を図りながら拠点施設としての機能強化に取り組んでいく。</p>
<p>成果検証を踏まえた 今後の改善策</p>	<p>年間を通して来園者に楽しく過ごしてもらえるよう、工夫を凝らしたイベントの開催や収穫体験の充実を図り、農業振興や地域活性化を図っていく。</p>